

監査広報

Audit public relations

平成28年度「監査結果」の報告

(平成28年3月分～平成29年2月分)

毎月定例的に行われる例月出納検査と課（局・室）ごとに行われる定期監査など、監査結果についてお知らせします。

監査結果に関する報告

例月出納検査 一般会計ほか特別会計、各種基金と歳入歳出外現金の収納事務について、計数の正確性、現金、預金の管理状況などに主眼を置き、その関係帳簿、証書類との照合、支出伝票などの検査が行われました。

定期監査 特定の課において、過去の監査指摘事項などに対する改善策の進捗状況についてなどの監査が行われました。

例月出納検査については、平成27年度3月分～28年度2月分の一般会計、国民健康保険事業特別会計、国民健康保険診療所事業特別会計、上水道事業会計、寄簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計、介護保険事業特別会計、用地取得特別会計、後期高齢者医療特別会計の各会計の出納検査と収支月計表記載の計数と関係諸帳簿、証書類による審査や、平成28年4月～29年3月例月出納検査日の前月末における各金融機関の預貯金を照合した結果、各会計、各基金や歳入歳出外現金とも計数上の誤りは認められませんでした。

定期監査については、適正に処理されていると認められました。また、出先機関の現金取り扱い検査時の書類などは正確かつ適正に処理されていると認められました。

《監査結果の見方》

○監査の対象

監 監査委員の指摘事項(担当する課など)

町 町の改善策など(担当する課など)

例月出納検査、定期監査において、監査委員から指摘を受けた事項とその措置状況を報告します。

○例月出納検査

(平成28年5月26日)

監 新松田駅南口の付近にある駐車場にレンタルサイクルポートが設置されたが、詳細とトラブルがあった場合の対応について質問した。(観光課)

経済課

町 神奈川県が設置し、委託した運営事業者が管理を行っているとのこと。トラブルなどは管理者に連絡することになります。(観光経済課)

監 サイクリングを利用した取り組みも町への集客策のひとつのアイデアだと思う。利用率のアップに向け、PRをするように働きかけて欲しい。(観光経済課)

監 10月を目途に見直しをする予定だと聞いている町民文化センター内の公民館や公共施設などの使用料金の見直しについて、進捗状況を確認した。(教育課)

町 現在、社会教育法を適用し、公民館登録団体とスポーツ登録団体については使用料を減額もしくは免除としています。現在は、減免となつていく団体と見直しに向け、協議を行っていますので、協議が整った後、新たな料金体系に移行予定です。(教育課)

(平成28年12月26日)

監 寄簡水の漏水工事について、短期間に、近距離で実施している。事後保全だとのことような無駄な事例が出てしまう。予防保全の考えに則り実施したほうが結果として経費が掛からないのではないか。(環境上下水道課)

町 寄簡易水道については過去に組合から引き継いだもので、詳細な敷設時期が判る台帳が一部整備されておらず、事後保全になる場合もあります。現在、計画的に古い管から更新をしています。(環境上下水道課)

○定期監査

(平成28年8月18・19・22日)

監 給食費の滞納について、累計で約75万円あるとのことだが、その対応策などの説明を求めた。(松田小学校)

町 毎月文書や電話により催告を行っていますが、解消には至っていません。(教育課)

監 給食費として使える額が少なくなることは提供する給食の食材に影響を及ぼすのではないかと。学校現場での対応に限界があるようなので、一定期間が経過したら町教育部局で対応をされたらどうか。(教育課)

どうか。(教育課)

監 幼稚園の運営に関し、収支の観点から分析などはしているか。また、保育園の保育料と比較はしているか。(教育課)

町 収支を比較すると、大幅なかい離があるのも承知しており、保育園の保育料との比較もしています。人員配置を工夫するなどし、経費抑制に努めています。さまざまなニーズにこたえるためには必要な措置をとる必要もあると考えています。(教育課)

(平成28年9月28日)

監 学童保育の保育料に滞納がある場合には条例上、退会していただく要件になっている。保育料以外に特定財源のない事業でもあり、滞納している利用者がいることは問題ではないか。解消に向け重点的に対応して欲しい。(子育て健康課)

町 生活実態の把握をし、粘り強く交渉し、滞納の解消に努めます。(子育て健康課)

(平成28年9月29日)

監 町補助金交付団体の補助金支給について本来上期6割、下期4割の支給率を団体の資金繰りの関係で一部繰り上げて支給している。団体が独自で資金調達すべきではないのか。(福祉課)

町 団体の財務書類を再確認し、補助金の繰り上げ支給の必要がないように指導します。(福祉課)

(平成28年10月27日)

監 インフラの老朽化への対応が必要な時期にきているものがあるのではないか。従来は不具合が発生したり故障したら治すといった考えが主流のようだが、今後は長寿命化を図る視点を持ち管理していくべきだと思う。(まちづくり課)

町 近年、老朽化が原因となる事故などが発生し、その影響の大きさから社会全体の考え方が事後保全型ではなく、予防保全型に移行しています。松田町もその影響の大きさに鑑み、先進的な取り組みをしている自治体の例なども参考としながら、計画的に事業を行っていきます。

(まちづくり課)

監 下水道の未接続は348世帯／3944世帯であるが、横浜・川崎で無届けで接続していた事例があったようである。松田町でも同様の事例がないか公平性の観点からも確認をされたい。(環境上下水道課)

町 新築・既存家屋それぞれについて検証をし、浄化槽設置の実績などの情報の把握に努めるなどさまざまな角度から不正が無いように確認していきます。(環境上下水道課)

(平成28年10月28日)

監 観光関連の事業について、町が委託しているにもかかわらず、事業に携わる職員が多く、見えないコストが発生していると推察される。代休対応などは、仮にそれを完全に消化した場合、役場が本来提供すべきサービスの低下を招く恐れがある。委託業務の内容を明確にし、サービス向上に努めてほしい。(観光経済課)

町 町の職員が担っている業務があることは承知している。業務の役割分担を明確化し、改善を図っていきます。(観光経済課)

(平成28年11月24日)

監 財政運営が一層厳しくなると予想される中、将来的な見通しと、経常収支比率の上昇をどのように捉えているか。(政策推進課)

町 経常収支比率については、起債の償還額が減らないと考えていますが、今後平成35年頃まで緩やかに上昇が続くと見込んでいます。(政策推進課)

監 今後は特別会計への繰り出しや指定管理料の動向に目を配り、受益者負担の適切な負担を求めるため、公共施設の使用料の設定を見直すなど財政的な見地からの検討をされたい。

＜監査委員紹介＞

識見監査員（代表監査委員）

議選監査委員

遠藤 孝生
石内 浩